

**2019 ゴールドカップレース 大会特別規則**

**2019 ゴールドカップレースシリーズ 車両規定**

**特別規則書**

**SUPPLEMENTARY REGULATION**





## 目 次

### 2019 ゴールドカップレース 大会特別規則

第 1 条	競技会の名称	P2
第 2 条	オーガナイザー名称、代表者、所在地	P2
第 3 条	大会役員	P2
第 4 条	開催日程およびオーガナイザー	P2
第 5 条	開催場所	P2
第 6 条	開催種目	P3
第 7 条	レース区分・クラス区分・レース距離	P3
第 8 条	決勝出場台数	P3
第 9 条	審判員の判定内容	P3
第 10 条	参加申込	P4
第 11 条	参加資格	P5
第 12 条	参加受理、参加拒否	P5
第 13 条	参加車両	P5
第 14 条	エンジン、トランスミッション、デファレンシャル交換	P6
第 15 条	公式予選通過基準タイム	P6
第 16 条	得点の授与	P6
第 17 条	賞典	P7
第 18 条	シリーズ賞	P7
第 19 条	タイヤ	P8
第 20 条	競技車両番号（ゼッケン）	P8
第 21 条	無線通信機器類	P9
第 22 条	ブルテンの発行	P9

### 2019 ゴールドカップレース 車両規定

ツーリングカー車両規定	P10
スーパー FJ (S-FJ) 車両規定	P14
TOYOTA GAZOO Racing Netz CUP Vitz Race NCP131 車両規定	P14
TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race 車両規定	P14
N-ONE OWNER'S CUP 車両規定	P14
AUTOPOLIS 86/BRZ 車両規定	P15
VITA 車両規定	P16

## 2019 ゴールドカップレース 大会特別規則

### 【 公 示 】

2019 ゴールドカップレースは FIA 国際モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠した日本自動車連盟 (JAF) の国内競技規則、およびその付則、2019 年オートポリス一般競技規則ならびに本大会特別規則に従い JAF 公認の準国内格式競技として開催される。併催レースについては、各併催レースの特別規則が優先される。

#### 第 1 条 競技会の名称

競技会の名称	2019 ゴールドカップレース
競技種目	レース
格式	準国内格式

#### 第 2 条 オーガナイザー名称、代表者、所在地

オートポリス倶楽部 (APC) 代表：有村 純徳  
 株式会社オートポリス 代表：寺西 猛  
 〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田 1112-8  
 TEL:0973-55-1111 FAX:0973-55-1113

#### 第 3 条 大会役員

公式プログラムまたは公式通知に示す。

#### 第 4 条 開催日程およびオーガナイザー

日程	競技会名	オーガナイザー	参加申し込み先	参加申し込み期間
4/7 (日)	2019 ゴールドカップレース 第 1 戦	オートポリス倶楽部 (APC) 株式会社 オートポリス	〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田 1112-8 株式会社オートポリス モータースポーツ部 ゴールドカップ事務局	2/24(日)～ 3/18(月)
6/15(土)～ 16(日)	2019 ゴールドカップレース 第 2 戦	オートポリス倶楽部 (APC) 株式会社 オートポリス	〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田 1112-8 株式会社オートポリス モータースポーツ部 ゴールドカップ事務局	5/5(日)～ 5/27(月)
8/11 (日)	2019 ゴールドカップレース 第 3 戦	オートポリス倶楽部 (APC) 株式会社 オートポリス	〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田 1112-8 株式会社オートポリス モータースポーツ部 ゴールドカップ事務局	6/30(日)～ 7/22(月)
11/17(日)	2019 ゴールドカップレース 第 4 戦	オートポリス倶楽部 (APC) 株式会社 オートポリス	〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田 1112-8 株式会社オートポリス モータースポーツ部 ゴールドカップ事務局	10/6(日)～ 10/28(月)

#### 第 5 条 開催場所

オートポリスインターナショナルレーシングコース (右回り 4.674km)  
 JAF コース公認 No.2019-1514

## 第 6 条 開催種目

レース名	ゴールドカップレース シリーズ				編入レース			
	JAF 地方選手権 S-FJ	TC ※ 1	VITA ※ 1	AP86/ BRZ	N-ONE OWNERS CUP	TGR 86/BRZ	NetzCup Vitz	Porsche トロフィー
2019 ゴールドカップレース 第 1 戦	○	◆	◆	●			△	△
2019 ゴールドカップレース 第 2 戦	○ ※ 2	◆	◆	● ※ 2、3		△ ※ 2	△	
2019 ゴールドカップレース 第 3 戦	○	◆	◆	●				
2019 ゴールドカップレース 第 4 戦	○	◆ ※ 4	◆ ※ 4	●	△			

○ …………… JAF 地方選手権・ゴールドカップレースシリーズ

● / ◆ …………… ゴールドカップレースシリーズ

△ …………… ゴールドカップレースシリーズ対象外

※ 1 ◆印の種目は混走にて実施する。

※ 2 2 レース (土曜日予選・決勝 1/ 日曜日決勝 2)

※ 3 TGR86/BRZ 混走

※ 4 2 時間耐久レース

## 第 7 条 レース区分・クラス区分・レース距離

レース区分	クラス区分	周回数
スーパー FJ		10 周
TC	SS0	10 周 ※ 1
	SS1	
	SS2	
	SS3	
VITA		10 周 ※ 1
AP86/BRZ	クラス 1	10 周
	クラス 2	
編入レース	各シリーズ規則による	

※ 1 第 4 戦のレース時間は 2 時間とする。

## 第 8 条 決勝出場台数

46 台

## 第 9 条 審判員の判定内容

JAF 国内競技規則 10-20 の審判員判定事項は次の通りとする。

### 1. スタート審判員

2019 オートポリス一般競技規則第 31 条「スタート」に関する判定。

### 2. 決勝審判員

2019 オートポリス一般競技規則第 35 条「レース終了」第 38 条「順位認定」に関する判定。

3. その他の審判員（走路）  
FIA 国際モータースポーツ競技規則付則 H 項に関する判定。  
FIA 国際モータースポーツ競技規則付則 L 項第 4 章 2. に関する判定。
4. その他の審判員（ピット）  
2019 オートポリス一般競技規則第 10 章「ピットレーン、ピットイン、アウト」第 11 章「ピット、ピット作業に関する判定」。

## 第 10 条 参加申込

1. 参加申込書・車両仕様書を漏れなく記入し、参加料を添えてオーガナイザー宛に提出しなければならない。  
参加申込は原則 WEB エントリーのみとするが、やむを得ない事情によりその他の方法で参加申込を希望する場合は、事前に大会事務局に連絡し、事務手数料 1,000 円を支払うことにより申込することができる。その際も、参加申込期間は遵守すること。



WEB エントリー:

[https://www.ms-event.net/apweb/user/?a=race.race\\_entry\\_list](https://www.ms-event.net/apweb/user/?a=race.race_entry_list)

2. 参加申込みが多数の場合、当初指定していた申込み締切日以前に締め切る場合がある。それでも参加申込み台数が決勝出走台数より多い場合は「参加申込書・車両仕様書・参加料」を完全な状態で提出したものの中から先着順で決定する。
3. 参加申込は原則として本規則第 4 条の参加申込期間内とする。
4. 年間エントリー申込者は、参加者都合による欠場の場合、参加料は返金されない。また、年間エントリー申込期日を過ぎてからの変更はできない。なお、参加申込書・車両仕様書は通年使用するものとし、記載内容に変更がある場合のみ、当該レース申込期間中に各書類を提出すること。
5. TGR86/BRZ、Vitz、N-ONE は別途各協会発行のシリーズ規定に準拠する。
6. 参加料金

クラス	参加料金（本体価格）	税額（8%）	合計
S-FJ、TC、VITA、AP86/BRZ	30,000 円	2,400 円	32,400 円
S-FJ（第 2 戦：2 レース開催時）	45,000 円	3,600 円	48,600 円
AP86/BRZ （第 2 戦：2 レース開催時）	TGR86・BRZ 規定による		
TC 耐久・VITA 耐久	48,000 円	3,840 円	51,840 円
S-FJ 年間エントリー	114,750 円 （第 1 戦参加申込時に受付）	9,180 円	123,930 円
TC・VITA 年間エントリー	117,300 円 （第 1 戦参加申込時に受付）	9,384 円	126,684 円
AP86/BRZ 年間エントリー （第 2 戦は含まず）	76,500 円	6,120 円	82,620 円

※ 2019 年中に消費税率の変更があった場合は、新税率を適用する。

## 第 11 条 参加資格

全てのドライバーは、有効な運転免許証を所持し（限定 A ライ所持者は除く）JAF の 2019 年国内競技運転者許可証 A 以上と、オートポリス発給のコースライセンス（TGR86/BRZ、Vitz、N-ONE 除く）を所持していなければならない。OIC・SUGO コースライセンス所持者は、レース当日有効とするが、前日の特別スポーツ走行は、別途制定される。なお上記以外の九州圏外出場者には暫定オートポリスコースライセンス講習会を行う。（レース当日を含む 10 日間有効・申請料 5,000 円）

### 1. S-FJ

JAF 国内競技規則 2019 年日本レース選手権規定第 3 章地方選手権第 19 条ドライバーの参加資格による。

### 2. Vitz

2019 シリーズ規則に準拠する。

### 3. TGR86/BRZ

2019 シリーズ規則に準拠する。

### 4. N-ONE

2019 シリーズ規則に準拠する。

### 5. Porsche トロフィー

2019 シリーズ規則に準拠する。

### 6. ピットクルーおよびエントラント

ピットクルー登録はチーム監督含む 3 名まで、また、エントラントは 2019 オートポリス一般競技規則第 3 条エントラント、第 5 条ピットクルーに従うこと。なお、シグナリングプラットフォームに入場できる人数は全て 2 名までとする。耐久レースは監督を除き、ピットクルー 5 名までとする。

## 第 12 条 参加受理、参加拒否

1. 参加申込者に対しては、エントリー締め切後大会組織委員会から参加受理または参加拒否が通知される。
2. 参加申込が正式受理された場合には、組織委員会より正式参加受理書と登録ドライバー、登録ピットクルーの身分証明書(クレデンシャルパス)等が郵送により交付される。
3. 参加拒否された申込者に対しては、事務手数料 1,000 円を引いた参加料が返還される。
4. 競技参加者の公式名簿は、公式プログラムにて公示する。

## 第 13 条 参加車両

1. 個別に規定する各クラス参加車両に合致した車両とする。
2. 全ての参加車両が使用できる燃料は 2019 オートポリス一般競技規則第 17 条燃料規定に合致していなければならない。  
ただし、自動車番号登録標付き車両はこの限りではない。

## 第 14 条 エンジン、トランスミッション、デファレンシャル交換

公式車両検査に合格した車両は、エンジン、トランスミッション、デファレンシャルの交換が禁止される。公式予選後やむを得ない事由で交換しなければならない場合、技術委員長並びに競技長の承認のもと、審査委員会が許可したものに限り認められる。ただし、原則として公式予選で達成されたスターティンググリッドが失われ最後尾スタートまたはピットスタートを条件とするが、最終的には大会審査委員会の決定に委ねられる。なお、エンジン、トランスミッション、デファレンシャル等の脱着修理の場合でも同様となる。

1. 交換申請締め切りは公式予選終了後 30 分以内とする。
2. 再度、車両検査を受け合格しなければならない。
3. TGR86/BRZ、Vitz、N-ONE は別途各協会発行のシリーズ規定に準拠する。

## 第 15 条 公式予選通過基準タイム

クラス	予選通過基準タイム%
S-FJ	上位 3 位までのタイムを平均し、その 130% 以内
TC・VITA・AP86/BRZ	各クラスの上位 3 位までのタイムを平均し、その 120% 以内
TGR 86/BRZ・Vitz・N-ONE	各シリーズ規則に準拠する

## 第 16 条 得点の授与

### 1. 得点基準

#### 1) S-FJ

得点は、完走した者に対し各レース区分または各クラス区分における順位に従って大会毎に下記表の通り与えられる。

#### 2) AP86/BRZ

得点は、完走した者に対し各レース区分または各クラス区分における順位に従って大会毎に下記表の通り与えられる。

第 2 戦で TGR86/BRZ 参加のドライバーは、申告が行われた場合、クラブマンシリーズはクラス 1、プロフェッショナルシリーズはクラス 2 のポイントが付与される。

#### 3) TC・VITA

① 得点は、完走した者に対し各レース区分または各クラス区分における順位に従って大会毎に下記表の通り与えられる。この得点の他に、各大会のポールポジションおよび決勝ファステストラップを獲得した各クラスのドライバーに対し、それぞれ 2 ポイントが付与される。

当該ポイントは、ゴールドカップレース第 1 戦から第 4 戦までのレース毎に付与される。

#### ② 各クラスのポイントについて

各クラスの参加台数が満たず、クラス統合が生じた場合、統合前のクラスにてポイントが付与される。

#### ③ 2 時間耐久レースのポイントについて

TC 耐久レースに参加し、なお且つ完走した場合には対象となる個々のドライバーへ得点が付与される。

付与される得点は耐久レースで参加したクラスとする。



順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
得点	20	15	12	10	8	6	4	3	2	1

2. 不可抗力によるレース中止の場合の取り扱い
  - 1) 先頭車両が2周回を終了する前にレースが中止された場合には、得点は与えられない。
  - 2) 先頭車両が2周回を終了してレースが中止された場合の得点は、規定周回数を満たした者に対しすべて与えられる。  
・S-FJは国内競技規則付則 日本選手権レース規定第1章第5条選手権レースの成立に準拠する。
3. TGR86/BRZ、Vitz、N-ONEの得点は各協会発行のシリーズ規定に準ずる。

## 第17条 賞典

1. クラスの賞典は以下の通り。

クラス	優勝	2位	3位	4位	5位	6位
S-FJ	60,000円	50,000円	40,000円	30,000円	20,000円	10,000円
TC・VITA	50,000円	40,000円	30,000円	20,000円	10,000円	5,000円
AP86 / BRZ	50,000円	40,000円	30,000円	20,000円	10,000円	5,000円

2. 賞典の制限を以下の通りとする。

	3台	4～5台	6～7台	8～9台	10～11台	12台以上
入賞順位	1位まで	2位まで	3位まで	4位まで	5位まで	6位まで
賞金額	60%	60%	80%	80%	80%	100%

3. 各クラスの決勝スタート台数が3台に満たない場合は不成立とし、賞典外とする。  
(S-FJは国内競技規則付則 日本レース選手権規定第1章第5条選手権レースの成立に準拠する)
4. TC SS0～SS3クラス賞典について  
暫定表彰式は、各クラス順位で表彰され、副賞(トロフィー)も同様に授与される。
5. TCクラス不成立の場合  
各クラスが不成立の場合、大会組織委員会は、クラスの統合を行い賞典を定める。
6. TGR86/BRZ、Vitz、N-ONEは各協会発行のシリーズ規定に準拠する。

## 第18条 シリーズ賞

1. AUTOPOLIS シリーズ

- 1) 表彰対象

- ① 表彰対象レースは、S-FJ、AP86/BRZ、TC、TC耐久各レースとする。
- ② 表彰対象はドライバーとする。
- ③ シリーズポイント獲得者の内、1位～6位までとする。
- ④ クラス表彰対象者数は大会組織委員会が決定する

- 2) JAF 地方選手権及び JAF 九州地域クラブ協議会 (JMRC 九州) のシリーズ賞は各規則に準ずる。
  - 3) TGR86/BRZ、Vitz、N-ONEは各協会発行のシリーズ規定に準ずる。
2. シリーズタイトルの決定方法

複数ドライバーが同一得点を得た場合は下記基準を用いて順位を決定する。

- 1) 全戦有効ポイントとする。
- 2) 高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。
- 3) 上記 1) 2) で決定されない場合は最終戦で高得点を挙げた者を上位とする。
- 4) 上記 1) 2) 3) でも決定できない場合は組織委員会により決定される。

## 第 19 条 タイヤ

1. 一般市販ラジアルタイヤを使用する場合は、出走前からタイヤのスリップサインがでたタイヤの使用は禁止される。(タイヤトレッドの範囲で1箇所でもスリップサインが出て無ければ使用可能)
2. 競技会期間中、機材などを用いてタイヤなどを意図的に加熱、保温または溶剤塗布することは禁止される。
3. TGR86/BRZ、Vitz、N-ONE 車両は各協会発行のシリーズ規定に準ずる。
4. AP86/BRZ 車両は TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race クラブマンシリーズ規定に準じ、別途車両規定に制定する。

## 第 20 条 競技車両番号 (ゼッケン)

1. 使用できる番号は No.1 から No.999 までとする。ただし、各レース規定にて指定がある場合はこの限りではない。なお、整数の前に `0、` を使用することはできない。
2. 数字はアラビア数字、書体はフーツラボールドとし、それ以外の書体等、ゼッケンベースを含む斜体(斜め文字)は認められない。また、文字位置の相違は許されない。

フーツラボールド書体 **0123456789**

3. 数字のタテの長さは、S-FJ は約 25 cm 以上、ツーリングカーは約 30 cm 以上でなければならない。ゼッケン文字幅は最低 5 cm 以上あること。リヤゼッケン数字はこの限りではない。
4. ツーリングカー・S-FJ のゼッケン色並びにゼッケンベースについては車両規定に定める。
5. 車体色を利用してゼッケンベースの数字部分だけを切り抜き等、市販のゼッケン(テープなどで貼り付ける暫定的なゼッケン)の使用は認められない。
6. 貼り付け位置は各クラス規定に従うこと。
7. 年間を通じて使用する番号が指定される場合がある。
8. 競技車両番号は競技会期間中を通じて保持しなくてはならない。
9. TGR86/BRZ、Vitz、N-ONE、Porsche トロフィーは各協会発行のシリーズ規定に従うこと。
10. S-FJ のゼッケン No.1 については、前年の AUTOPOLIS シリーズチャンピオンのみが使用することができ、当該ドライバーが使用を希望しない、または参加しない場合、ゼッケン No.1 は欠番となる。

## 第 21 条 無線通信機器類

走行中のドライバーに対して無線通信機器(携帯電話、アンテナ含む)を使用して、通信および受信を行ってはならない。ただし、ツーリングカー耐久レース特別規則、サポートレース規則で別途規定されている場合は、本条項よりそれらが優先される。

## 第 22 条 ブルテンの発行

本規則の発行後に規則の制定、改定等が生じた場合、ブルテンとしてオートポリス公式ホームページにて公表される。

## 2019 ゴールドカップレース 車両規定

### 【参加車両規定】

#### ツーリングカー車両規定

#### 第1条 参加車両

SS0 から SS3 クラスの参加車両は、FIA (グループ N・A・B) 2019JAF 量産ツーリングカーとして公認または登録された車両で、2019 年 JAF 国内競技車両規則第 1 編第 3 章一般規定、第 4 章安全規定、第 5 章量産ツーリングカー規定、並びに本規則に従って改造された車両および大会審査委員会が特に認めた車両とする。また、国内で販売される車両の純正部品以外の使用は基本的に認められない。(特規の部品は除く)

#### 第2条 クラス名称および排気量区分

##### 1. SS0 : SUPER SPORT 0

総排気量 1790cc 以上の NA 車両 (可変バルブタイミングおよび可変バルブリフト機構付き) および 1499cc 以上 2000cc 未満の過給機付き車両および特に認めた車両。

##### 2. SS1 : SUPER SPORT 1

総排気量 1799cc 以上 2000cc 未満の可変バルブタイミング機構付き車両および特に認めた車両。

##### 3. SS2 : SUPER SPORT 2

総排気量 1580cc 以上 1800cc 未満の可変バルブタイミングおよびバルブリフト機構付き車両および特に認めた車両。

##### 4. SS3 : SUPER SPORT 3

総排気量 1480cc 以上 1800cc 未満の車両および特に認めた車両。

※上記クラス区分内で参加台数に満たない場合、大会組織委員会はクラス統合を行う場合がある。

#### 第3条 エアロパーツ規定

1. ボンネット・トランクを軽量パーツに変更する場合は、主要構造体を変更しないこと。エアダクト付きの裏面は十分な強度があること。
2. エンジンクーリングの為内部構造が見えないことを条件に naca ダクトおよびルーバーを設置することが出来る。ただし最大突出量 20mm を超えてはならない。
3. 前後バンパーを軽量品に交換する場合は、ボルトにて確実に固定すること。車両全長の 2.5% 以内であれば、装着可能とする。カナード単体の取り付けは認められない。
4. リヤウイングの最大高さ・幅は車両の全長・全幅・全高を超えないこと。

#### 第4条 ボディーワーク

車体の改造、形状の変更は認められない。

## 第5条 ハードトップ

形状・強度を含み純正品と同様・同等であることを条件に交換ができる。取り付けは確実に固定すること。

## 第6条 ウインドガラス

フロントウインドシールドガラスを除き、材質の変更を認める。板厚の変更、作動、形状の変更は認められない。ドアパネル以外のウインドガラスの変更についてはビス等で補強すること。

## 第7条 エンジン

### 1. シリンダーブロック

同一車両製造者のシリンダーブロックを使用することができる。スリーブ加工が認められる。また、純正オーバーサイズピストンを使用した場合でも元の排気量区分とする。

### 2. シリンダーヘッド

同一車両製造者のシリンダーヘッドを使用することが出来る。2000年以前の車両に関して、シリンダーヘッド高さは最大1mmまでの研磨が許される。

### 3. カムシャフト

同一車両製造者のカムシャフトを使用することが出来る。

### 4. ピストンおよびコンロッド

同一車両製造者のピストンおよびコンロッドを使用することが出来る。バランス調整は1つは未加工品であること。

## 第8条 エキゾースト・マフラー・排気ガス浄化装置

材質および変更が認められる。排気ガス浄化装置（触媒）の取り付けが義務付けられる、取り付け位置および種類は問わない。大会期間中排出ガスを測定する場合がある。（排気ガス測定基準は昭和53年度規制値とする）

## 第9条 排気音量

JAF国内競技車両規則第4編付則レース車両の排気音量測定に関する指導要綱に基づき、0.5m測定時の最大音量は125(dB)を超えてはならない。

## 第10条 ラジエーターおよび導風板

ラジエーターの取り付け位置の変更は認められない。導風板を取り付ける場合は暫定的な方法では無く、溶接もしくはビス等で固定すること。また、取り付けの場合、フロントグリルおよびフロントバンパー開口部後端までとする。

## 第11条 フライホイール・クラッチ

材質・ディスク数の変更が認められる。

## 第 12 条 トランスミッション

国内向け同車両モデルに設定が有るトランスミッションへの変更が認められる。

## 第 13 条 ブレーキ

国内向け同車両モデルに設定が有るブレーキシステムの使用が認められる。

## 第 14 条 サスペンション

国内向け同車両モデルに設定が有るサスペンションの使用が認められる。ダンパーのアップマウントに限り調整式を含み変更が認められる。

## 第 15 条 デファレンシャルギアおよび LSD

デファレンシャルギア・LSD は製造メーカーを問わず変更が認められる。

## 第 16 条 シートベルト・FHR システム

2019 年 JAF 国内競技車両規則第 4 編付則レース競技における安全ベルトに関する付則およびドライバー装備品に関する付則内、FHR に関する規則に従うこと。オープンカー車両の場合は 5 点式以上のベルトを装着すること。

## 第 17 条 タイヤ

SS0 クラスに限り公式予選・決勝レースを通じ、競技専用タイヤの使用が認められる。SS1～SS3 クラスに使用できるドライタイヤは日本国内で販売される各メーカー発行の一般市販タイヤカタログに記載されたタイヤとする。競技専用 WET タイヤの使用が認められる。タイヤトレッド面に、機械加工等を施したタイヤの使用およびスリップサインが全周に渡り出ているタイヤの使用は禁止される。タイヤの使用本数の制限は設けない。

## 第 18 条 競技車両番号（ゼッケン）

1. ゼッケン色  
ベース色（白） 文字（黒）
2. サイズ  
フロント・サイド 縦 300mm 文字幅 50mm 以上  
リヤ 縦 300mm 未満 文字幅 30mm 以下
3. 貼り付け位置  
前部ドアパネル 左右側面 フロントフードパネル（左側） リヤパネル（バンパー）

## 第 19 条 ロールケージ

2019JAF 国内競技車両規則第 1 編第 4 章第 6 条に従って装着すること。  
オープンカーに付いては 2019 年 JAF 国内競技車両規則第 1 編第 4 章第 6 条 6.3.2.1.3) に従い、ルーフの補強を推奨する。

## 第 20 条 車両重量

ドライバー（装備品込み）・燃料・冷却水・オイル等を含む状態の重量とする。複数人で参加の競技会では各ドライバーの中で一番重量の軽いドライバーを基準とする。

車両別重量に関しては以下の表の通りとする。

### 1. SS0 クラス

車種 / 型式	最低重量
インテグラ DC5	1100kg
S2000 AP1	1120kg
フェアレディZ Z33	1240kg
フェアレディZ Z34	1280kg
シルビアターボ S13・S14・S15	1150kg

### 2. SS1 クラス

車種 / 型式	最低重量
シルビア NA S13	950kg
シルビア NA S14/S15	980kg
アルテツア SXE10	980kg
ロードスター NC	980kg
MR2 SW20NA	980kg
86/BRZ ZN6・ZC6	1030kg

### 3. SS2 クラス

車種 / 型式	最低重量
シビック EG6	990kg
シビック EK9	990kg
インテグラ DC2	1020kg
レビン / トレノ AE86	900kg
レビン / トレノ AE101	940kg
レビン / トレノ AE111	950kg

### 4. SS3 クラス

車種 / 型式	最低重量
スイフト ZC31・32	900kg
フィット GK5	900kg
ロードスター NA6	900kg
ノート E12	900kg
マーチ K13	900kg
ロードスター ND	900kg

その他原動機を変更した車両および記載が無い車両等の基本重量算出に関しては、車両の走行性能等を考慮の上、大会組織委員会が算出する。

基本的な算出は同一型式内最低重量を基本とし、50kg～80kgの範囲にて減算されるが車両性能にて調整される場合がある。

新規参加車両に関しては、事前に確認のこと。

## スーパー FJ (S-FJ) 車両規定

### 第 1 条 参加車両

2019 年 JAF 国内競技車両規則第 1 編第 10 章 スーパー FJ (S-FJ) 規定に合致した車両であること。

### 第 2 条 タイヤ

1. 横浜ゴム株式会社製の指定タイヤとする。
2. 公式予選から決勝レースまで使用できるドライタイヤは 4 本のみとする。
3. ドライ、ウェットパターンの選択は自由であるが、トレッドパターンは、4 本とも同一であること。

### 第 3 条 競技車両番号（ゼッケン）

1. 貼り付け位置  
フロントカウル上面と左右のリヤウイング翼端板もしくはスペースが無い場合はボディ側面の 3 ヶ所に貼り付けること。
2. ゼッケンベース  
ゼッケンベースが車体と同色の場合、文字と反対色を使用すること。

### 第 4 条 パーツおよび器具の写真携行

エントラントは消火器・燃料タンク・触媒を撮影した写真を携行しなければならない。

## TOYOTA GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race NCP131 車両規定

T.R.A. 発行の 2019 年 TOYOTA GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race 車両規定に合致した車両であること。

## TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race 車両規定

T.R.A. 発行の 2019 年 TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race 車両規定に合致した車両であること。

## N-ONE OWNER'S CUP 車両規定

HORS 発行の 2019 年車両規定に合致した車両であること。



## AUTOPOLIS 86/BRZ 車両規定

### 第1条 参加車両

2019年 JAF 国内競技規則付則自動車登録番号標付車両によるレース開催規定に合致した、トヨタ 86 (ZN6)、スバル BRZ (ZC6) であること。

### 第2条 クラス

クラス1: TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race クラブマンシリーズ規定に合致した車両であること。

クラス2: JAF 国内競技車両規則第3編第7章スピードB 車両規定に合致した車両であること。

最低重量: 1160Kg(マイナーチェンジ前後共)

### 第3条 タイヤ

クラス1・2とも TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race クラブマンシリーズ規定とする。上記の規定に変更が生じた場合その規則に準拠する。

### 第4条 競技車両番号(ゼッケン)

1. ゼッケン色 ベース色(白) 文字(黒)

2. サイズ フロント・サイド 縦 300mm 文字幅 50mm 以上  
リヤ 縦 300mm 未満 文字幅 30mm 以下

3. 貼り付け位置

前部ドアパネル / 左右側面 / フロントフードパネル(左側) / リヤパネル(バンパー)

### 第5条 シートベルト・ドライバー装備品

2019年 JAF 国内競技車両規則第4編付則レース競技における安全ベルトに関する付則およびドライバー装備品に関する付則内 FHR に関する規則に従うこと。

## VITA 車両規定

### 第1条 定義

オープンスポーツカーのデザインを取り入れ、モータースポーツ愛好家のために設計された4輪自動車である。車両の製造者は、より多くの人にレーシングカーを楽しんでもらうことを主旨として開発し、決して性能競争に奔走してはならない。認定された車両の基本デザインの変更はできない。この車両はゴールドカップレース組織委員会によって認定された、VITA -01 (Type-A、Type-B、Type-J) とし、本車輛を製造するウエストレーシングカーズ(株)の出荷時の状態を基本とする。

なお、出荷時の状態が維持されているかの判断は、VITA-01 純正パーツリストと認定車輛写真が用いられるが、判断が困難な場合はウエストレーシングカーズ(株)からの提言が採用される。ただし、事前にウエストレーシングカーズ(株)が車両製造上で仕様変更を行なった場合はこの限りではない。

基本的には下記の項目で記載されていない箇所は加工および変更禁止とする。

### 第2条 材料規制

以下の材質の使用は禁止される。

マグネシウム・チタニウム・カーボン・アラミド繊維。

### 第3条 車両規則

エンジンおよび補機

1. エンジンはトヨタ VitzRS (NCP13) に搭載されている1NZ (カムローラーロッカータイプを除く) を使用し、最大排気量は1500ccまでとする。エンジン内部および補機(エンジンが始動する為の総ての関連部品) は、下記の項目を除き改造も変更もしてはならない。

ただし、シャシーにエンジンを搭載するための最少限の変更は許される。

2. スパークプラグは純正型番と同じねじ径・長さ寸法であれば変更可能。スパークプラグの加工は禁止される。

3. サーモスタッドは自由。

4. オイルフィルターは自由。

5. エアフィルターの交換は自由とするが、純正エアフィルターボックスは加工および取り除きは禁止され、その吸入口から前方に伸びる吸入ホースは、左側ファイアーウォールまでとし、ファイアーウォールで開口される。開口部はΦ80mm以下とする。

ファイアーウォールより前方に伸びる吸入口は禁止される。(突き出しは最大15mmまで)

6. 燃料タンクからエンジンデリバリーパイプ間には燃圧変更装置の取り付けは禁止される。

7. クラッチディスクは材質の変更のみ認められる。

8. エンジンはオルタネーター【1.に取り付けられているもの】およびオルタネーターベルトを付けた状態とし、そのオルタネーターはエンジンが作動している状態では、いかなる場合でも発電機能をさせた上で取り付けられていること。

なお、オルタネーターベルトの変更は認められる。

9. シリンダーブロックはホーニングのみ認めるが、オーバーサイズピストンは認めない。
10. エキゾーストパイプは1次集合までは純正品を使用し、テーブルパイプは破損した場合に限り修復できるが、直管で寸法は  
Φ 50 mm～Φ 75 mmとする。(触媒部分は除く)
11. 触媒は純正品のものを使用すること。
12. ECUの一切の変更および改造は許されない。ECUに繋がるエンジンハーネスは、エンジン作動のための配線のみ変更が許されるが、ECUに繋がるエンジンハーネスは、純正の配線以外の使用は禁止される。
13. 水温センサーは変更できる。
14. 1.で規定されているトヨタ Vitz RS (NCP13) のエンジン以外で、ウエストレーシングカーズ(株)で新規に搭載されるトヨタエンジン(NCP131)、それに組み込まれるトランスミッションには、エンジンおよびトランスミッションが分解できないように封印がなされる。封印のないエンジンおよびトランスミッションは使用できない。このエンジンにはウエストレーシングカーズ(株)で指定されたECUが加工取付されるが、その内部プログラムは固定され、変更・改造は禁止される。  
純正エンジンハーネスは、専用ECU接続のため加工されているが、これ以外に加工、外部からの接続などは禁止される。
15. メーター類の変更は自由。  
専用ECUから接続できるのは、指定されたCAN通信のみ可能。

#### 第4条 車体と寸法

車両の最大長	4,000mm
車両の最大幅	1,700mm
ホイールベース	2,150 ～ 2,250mmの間とするフロントオーバーハング 800mm 以下
リアオーバーハング	800mm 以下
高さ	950mm (安全ロール構造体を除き地上から950mmを超えてはならない)

1. ボディは排気パイプを除き、すべての機械的構成要素を覆うこと。
2. ボディはホイール上の張り出し、少なくともホイールの円周の1/3にわたり効果的に覆いタイヤの幅も覆うこと。

#### 第5条 最低重量

車両の重量は搭載エンジン型式により下記重量以上とする。

1. NCP13 600kg 以上
2. NCP131 615kg 以上

(レース用装備品をすべて着用した状態のドライバーおよび燃料を含めた、競技の行われている全ての期間中の重量を言う。)

ただし、大会組織委員会はシーズン途中に最低重量を変更する権限を有する。

## 第6条 駆動

最大2輪とする。また、デフの形式はフリーデフのみとする。

## 第7条 ギアボックス

前進5段、後退1段を越えるものであってはならない。

トヨタVitz RS(NCP13)のエンジンに装着されていた標準のギアボックスを使用すること。また、そのギアボックスの改造もしくは変更は許されない。標準のギアレシオは、下記のレシオとする。

1速…………… 3.166

2速 …… 1.904

3速 …… 1.392

4速 …… 1.031

5速 …… 0.815 最終減速比…………… 4.312

## 第8条 後退ギア

すべての車両は競技会の出走時において作動可能な後退ギアを含むギアボックスを有さなければならない。また、着座したドライバーによって操作できること。

## 第9条 運転席

ドライバーシートの変更は認められる。

## 第10条 ホイール

1. 15インチ径のホイールを使用すること。リム幅は最大7.0インチまでとする。
2. 材質は鉄またはアルミ軽合金とする。

## 第11条 タイヤ

1. 使用できるタイヤはオーガナイザーの指定タイヤに限る。
2. タイヤに関する規定  
銘柄：ADVAN NEOVA 08R  
サイズ：195/55R15 85Vとする。
3. 公式予選から決勝を通じて使用できるタイヤは4本までとする。  
使用するタイヤ4本は、公式車両検査時にオフィシャル（技術委員）によってタイヤマーキングが実施される。
4. 路面がウェット状態であると競技長が宣言した場合、上記3)においてマーキングされたタイヤ以外の使用が認められる。
5. 上記「ウェット宣言」以外の状況で、マーキングされたタイヤをやむを得ない事由で他のタイヤと交換する場合次の通りとする。  
(a) 公式予選中のタイヤ交換は認められない。  
(b) 公式予選終了後にマーキングされたタイヤを交換する場合は、公式予選終了後30分以内に文書により大会競技長へ申請するものとする。申請が認められた場合、公式予選にて達成された決勝レース・スターティンググリッドを失うものとし、最後尾

スタートとされる。タイヤ交換者が複数の場合、当初のグリッド順に従い、最後尾からグリッドが形成される。

6. タイヤの裏組み（左右を逆に組みなおす）は禁止される。
7. タイヤウォーマー・タイヤの加工（溶剤の塗布など）は禁止される。
8. ハンドカット等によるタイヤの加工は禁止される。

## 第 12 条 サスペンション

サスペンション形式はアウトボード形式とし、コイルダンパーユニットの一方はフレーム側ピックアップに、他方はサスペンションアームに付く形式を言う。インボード形式やブッシュロッド形式は不可とする。

ダンパーおよびコイルスプリングの変更は自由。

## 第 13 条 制動装置

同一のペダルによって操作される 2 系統の回路を有し、次の条件に合うものでなければならない。ペダルは通常 4 輪を制御するものであること。制動装置のパイプに漏れがある場合、もしくは制動伝達装置に何らかの欠陥がある場合でも、ペダルは少なくとも 2 輪を依然として制御するものであること。

ブレーキパッドの変更は自由。

## 第 14 条 赤色警告灯

12 ワット（相当）以上の赤色警告灯 2 個と停止灯 2 個を後方から明瞭に見えるように取り付けること。赤色警告灯は競技長の指示により常時点灯できる構造でなければならない。

## 第 15 条 燃料パイプ、タンク、ケーブルおよび電気装置

1. ライン/ケーブル/電気装置ライン、ケーブルおよび電気装置が、その取り付け位置/材質/連結方法等に関して航空機工業基準に準拠していない場合、次のことを生じりいかなる漏れもないよう取り付けられなければならない。

- コクピット内の液体たまり
- コクピット内への液体の侵入
- 電気または電気装置と液体の接触

もし、ケーブルラインあるいは電気装置がコクピットを通過する、またはコクピット内に取り付けられている場合それらは防火材でかつ液体の侵入を防ぐ材料によって完全に覆われていなければならない。

### 2. パイプライン

エンジンに常設されているパイプラインを除き、コクピットの外部にあるすべての燃料パイプラインは、最大作動温度 135℃で、41MPa (bar) の最低破壊圧力を有していなければならない。

### 3. 燃料タンク

下記に従い、JAF/FIA 公認の安全燃料タンクの装着が義務付けられる。

(a) 最大容量 20 リットルまでのタンクを一個、なおコレクタータンクの使用は禁止される。

(b) 取付位置はシートバックと主要ロール構造体のバルクヘッドの間とする。

## 第 16 条 車体

### 1. シャシー構造体

#### 1) スペースフレーム構造を基本とする。

主要な構造体には外形 32mm 以上で肉厚 1.6mm 以上のパイプを使用しなければならない。ドライバーの足部裏面からドライバー座席の背部までのコックピット内部断面積は 1,140 cm<sup>2</sup> 以下であってはならず、また最小幅はコックピットの全長を通じ 380mm 以上で主要ロール構造体バルクヘッド部は 680mm 以上なければならない。

2) フロントサスペンションピックアップは車体構造体の外部にあり、フロントバルクヘッドからピックアップ後部まではスペースフレームに厚さ 1.6mm の鉄板を溶接で組み合わされた構造でなければならない。

3) スペースフレーム構造体両側面には補強として肉厚 1.5mm 以上のパネルを貼付けられる。このパネルの最小引張強度は 225N/ mm<sup>2</sup> 以上であること。

### 2. 側面防護体

ドライバーを保護するため、車両の両側に側面防護体を設けなければならない。

側面防護体は車両の中心線から最小 750mm のところに、高さ 95mm 以上、前後長さは第 2 ロール構造体の前端から燃料タンク後端までの間に、車体構造体と連結したボックス構造を備えること。

この側面防護体は最小引張強度 225N/ mm<sup>2</sup> 以上のパネルを使用した構造であること。

### 3. コックピット

コックピットはドライバーが脱出するために 5 秒以上を要しないよう設計されていること。

コックピット開口部は、ステアリングホイールより後方 600mm から前方において 600mm の開口部が前後方向に 300mm 以上あること。

コックピット前方にウインドスクリーンの取り付けは認められる。

### 4. 後方視界

車両には、ドライバーが後方を見るために少なくとも 2 つのミラーを装備すること、また、それぞれのミラーの最小幅は 150mm で、少なくともそれが縦 50mm にわたり維持されていなければならない、各コーナーの半径は 10mm を超えてはならない。

取付けてあるミラーの高さは、ミラー部分の上面が最低カウルから 200mm 以上あること。

### 5. 空力装置

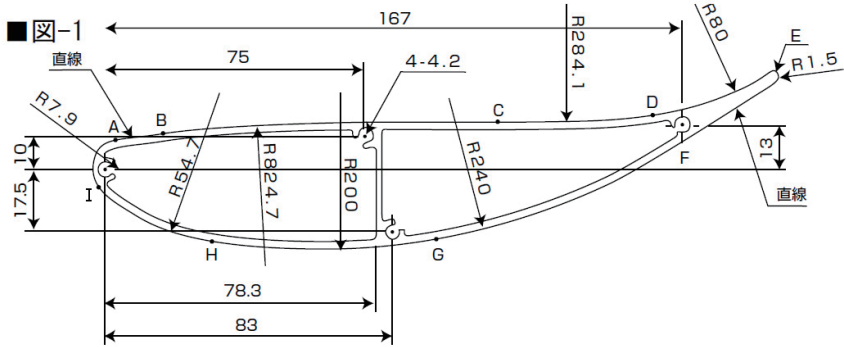
リアに取り付けられているウイングの翼断面は指定される。(図 -1 参照) ウイングには、ガーニーフラップ等の付加物は禁止される。

リアウイング以外の空力付加物の取り付けは禁止される。

### 6. 牽引用穴あきブラケット

2019 年 JAF 国内競技車両規則第 1 編第 4 章公認車両および登録車両に関する安全規定第 8 条に準拠して取り付けなければならない。

ただし、オープンボディの車はブラケットをロールバーで兼用できる。その場合は牽引位置を黄色に明示すること。



## 第 17 条 安全装置

### 1. 安全ベルト

幅 75mm 以上の 2 本の肩部ストラップ、1 本の腰部ストラップ、および脚の間の 2 本のストラップからなる安全ベルトの着用が義務付けられる。これらのストラップは FIA 基準 8853/98 または、8853/2016 に合致していなければならない。(ヘッドアンドネックサポート指定ベルトは除く)

### 2. ヘッドレスト

すべての車両は後方へ 833N(85kg) の荷重がかかった時に、50mm 以上傾かないヘッドレストを備えていなければならない。ヘッドレストの表面は 20,000 mm<sup>2</sup>以上で連続的であり、突き出した部分があってはならない。ドライバーの頭部を守る目的に限りロールバーの内部にヘッドレストおよび側面プロテクターの取り付けは許される。この場合、プロテクターはロールバーからはみ出さないこと。

### 3. 安全ロールバー

#### 1) ロールバー

- (a) 安全構造の基本目的はドライバーの保護にある。この目的は設計の基本考察である。
- (b) すべての車両は、少なくとも 2 つのロールバー構造を装備しなければならない。(チタニウム材の使用は禁止される)ロールバー構造体は外径 35mm 以上、肉厚 2.0mm 以上の冷間仕上継目無鋼管を使用すること。第 1 ロールバー構造体は、ステアリングホイールの前方にありステアリングホイール頂点の前方 25cm 以上にあってはならない。また、少なくともステアリングホイールの周縁の頂点と同じ高さでなければならない。第 2 ロールバー構造体は第 1 ロールバー構造体の後方から 50cm 以上離れていなければならない、またドライバーが正常に車両に着座し、ヘルメットをかぶりシートベルトを締められた状態のとき、そのドライバーのヘルメットは第 1 ロールバー構造体の頂点と第 2 ロールバー構造体の頂点を結ぶ線を超えてはならない。座席の背部にある第 2 ロールバー構造体は、車両の縦の中心線にして左右対称であり、また次の項目に合致しなければならない。最低高はコックピット底面から垂直に測定し、ロールバーの頂点までの間が少なくとも 90cm なければならない。ロールバーの頂点は通常の運転姿勢におけるドライバーのヘルメットから少なくとも 5cm 上方になければならない。

## 2) 強度

ロールバーの構造の規格については、まったく自由であり、下記に示された最小強度に耐えうるものでなければならない。

1.5W: 横方向

5.5W: 車両の前後方向

7.5W: 垂直方向 W は 600kg とする。

コンストラクター責任者またはその設計者によってサインされた証明書を競技会技術委員に提出しなければならない。証明書には、このロールバーの図面または写真を付けるとともに、このロールバーが上記の荷重に耐えうることを明記しなければならない。

## 3) 一般考察

ボルト、ナットを使用する場合にはその数に応じて十分な最小寸法を必要とする。その材質は最上級であること。(航空機用)

スクエアヘッドボルト、ナットは使用しないこと。

構造の主たる部分には継ぎ目のない 1 本の管を使用し、曲折部分は滑らかに連続的に曲げられており、ひだ、あるいは壁部に欠損がないこと。

溶接は全体にわたって最高の技術をもって行われるべきである。(通常はアーク溶接または特別の場合にはヘリアークが使われる)

スペースフレーム構造に開しロールバーの構造はそれにかかる荷重を広い面積に分散するように車両に取り付けられることが重要である。

ロールバーを単一な管あるいは継ぎ足された管に付着させるだけでは不十分である。

ロールバーはフレームの延長として設計されるべきで、単にフレームの付属として考えるべきではない。

基本構造の強度には十分な考慮が払われるべきである。例えば荷重を分散させるため補強バーあるいはプレートを付加すること。

## 4. 燃料タンクの注入キャップ

1) 燃料入口とキャップは車体より突き出してはならない。

衝突の際および不完全なロックによりキャップがゆるまめように設計されていなければならない。

2) 空気孔はコクピットの後方 15cm 以上の場所に位置すること。

3) 給油時のオーバーフローガソリンはコクピット内に流入しない構造であること。

## 5. 消火装置

すべての車両は、内容量 2kg 以上の粉末消火器、または、FIA 国際競技規則付則 J 項第 253 条 7 項に記された消火器を、ドライバーが速やかに操作できるようにしなければならない。金属製 ストラップの付いたラピッドリリースメタル (ワンタッチ金具) の装着のみ認められる。

(最低 2 箇所に装着することが推奨される)

### 記載事項

以下の情報を消火器に明記しなければならない。

a) 容器の容量

b) 消火剤の種類



c) 消火剤の容量もしくは重量

d) 消火器の点検日（消火器の有効期限は、充填した日もしくは前回点検日から2年とする）

#### 6. ステアリングホイール

ステアリングに切れ目があってはならない。

スイッチやメーター等を装着する場合は、それらが突起した形状（トグルスイッチ等）であってはならず、トグルスイッチ以外のスイッチやメーターを装備する場合は、ドライバーと対面するステアリングホイールリム全体で形成される平面よりもドライバーに近いところに位置してはならない。

緩衝パッドの装着を推奨する。

ステアリングホイールの変更は自由とする。

#### 7. 電気回路開閉装置（サーキットブレーカー）

すべての回路を遮断できる電気回路開閉装置（サーキットブレーカー）を取り付け、その取り付けた位置には赤色のスパークを底辺が最小10cmの青色の三角形で囲んだ記号で表示し、外部からでも容易に操作できること。

#### 8. オイルキャッチ装置

エンジンから外に出るオイルを集めるためにタンクもしくは装置を装着しなければならない。この装置は最小限2リットルの容量を有するものでなければならない。

この容器は透明なプラスチック製であるか、透明な窓枠を備えること。ミッションケースにより後方に位置してはならない。

#### 9. 防火装置

全ての車両は出火の際、火炎の直接の噴出を防止するためのエンジンと運転席の間に有効な防護壁を設けなければならない。

#### 10. 触媒装置および消音器

触媒装置の装着を義務付け、消音器の装着が推奨される。

#### 11. 排気音量

JAF国内競技車両規則に示された「レース車両の排気音量規制」の検査方法に準じ、排気音量規定値は最大で105dB(A)以下とし、各競技会の特別規則書を優先する。

#### 12. その他

技術委員長によって安全でないと判断された車両は競技に参加できない。

### 第18条 データロガー搭載およびデータの開示

公式予選上位6位までの車両に、指定されたポータブルタイプのデータロガーを搭載するように指示された場合は、その搭載されたデータロガーの決勝レース中のデータは、VITAクラス参加者に開示しなければならない。

### 第19条 性能調整

連続優勝をした参加者には性能調整をする場合がある。性能調整の方法はウエイトハンディとして、連続優勝した次の参加大会において最大30kgのウエイトを加算される場合がある。なお、ウエイトハンディの有効期限は1大会（2レース大会は各レースを1大会とみなす）のみとするが、ウエイトハンディを課された状態でさらに連続優勝した場合はウエイトハンディ状態が、さらに次参加大会まで延長される。ただし、Final Roundはウエイトハンディ

を適用されず、またウエイトハンディ対象者は 2020 年シーズンに持ち越されない。なお、大会組織委員会はウエイトハンディに関する権限を有する。

ウエイトを搭載する場所は、ペダルボックスから後方で消火器迄のフロア面にボルトにて固定すること。

Lined writing area with 25 horizontal lines.



## オートポリス

〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田1112-8  
TEL.0973-55-1111 FAX. 0973-55-1113  
<https://autopolis.jp/>